

# 平成27年度 グレース幼稚園事業報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日まで

学校法人 大阪キリスト教学院

理事長 今井 洋

グレース幼稚園

園 長 副島 美帆

平成27年度大阪府私立幼稚園経常補助金（情報公開要素）に係る  
情報公開の実施状況報告書

平成27年度大阪府私立幼稚園経常補助金（情報公開要素）に係る情報公開の  
実施状況については、下記のとおりです。

記

1. 情報公開要素（計算書類）

平成27年度 財務情報の公開状況

ホームページに記載している情報の種類

事業報告書

学校法人 大阪キリスト教学院グレース幼稚園 事業報告書

平成27年度

[平成27年4月1日から平成28年度3月31日まで]

1, 法人の概要

①名称：学校法人大阪キリスト教学院グレース幼稚園（昭和46年設立）

②住所等：大阪府大阪市阿倍野区昭和町4丁目3番19号

電話番号 06-6622-1008

ファクシミリ 06-6622-1008

ホームページアドレス <http://www.grace-kindergarten.jp/>

③定員：95名実員55名

④教職員の状況（平成28年3月1日現在）

園長1名、学級担任3名(主任含む)、フリー教員5名、職員1名

2, 事業の概要（平成27年度）

①本年の教育目的及び方針

キリスト教精神に基づいた自立性、創造性をのばす少数保育の実践  
本園では子どもたちが主役です。子ども一人ひとりが自分の力で考え、  
心を動かし、探求し、判断することを保育の基本としています。  
子どもどうしのふれあいや教師とのふれあいを大切に、集団生活を通し  
て、思いやり・勇気・責任感・自主性を育てます。また、大阪キリスト  
教短期大学付属幼稚園として、最新の教育論と方法を用い、経験豊かな  
教師が保育にあたっています。  
キリスト教を基礎として、幼児期より宗教心を育み、命の大切さや感謝  
の心を知る、心身共に健康で明るく、のびのびとした感性豊かな子ども  
を育てることを目指しています。

②在籍園児数(平成28年3月1日現在)

3歳児24名(1クラス・満3歳児含む)

4歳児12名(1クラス)

5歳児19名(1クラス) 合計55名

③保育時間

月・火・木・金曜:午前9時から午後2時

水曜::午前9時から午後12時

午前8時30分からの受け入れ可能

④保育料及び諸経費

保育料:22,000円/月

おやつ代:700円/月

P T A会費:1,100円(×10ヶ月)

⑤入園時の費用

入園料:50,000円

保育用品代:約25,000円

⑥施設設備費 教育充実費:20,000円/年

⑦預かり保育

月曜から金曜:朝8時~8時30分・降園後18時まで

⑧行事の実施状況

4月 入園式

5月 親子遠足・園外保育・移動動物園・健康診断

6月 園外保育・花の日礼拝・中学生との交流会・親子登園日

7月 プール遊び・宿泊保育(年長)

8月 プール開放

9月 祖父母の日・園外保育

10月 運動会・芋掘り・みかん狩り

11月 親子遠足・収穫感謝祭・園外保育

12月 クリスマス会

1月 もちつき・保育参観

2月 古典芸能鑑賞会・雪遊び・やきいもパーティ・お別れ遠足

3月 お別れ会・卒園式

## 2. 情報公開要素(学校評価)

平成27年度 学校評価の公開状況

ホームページに記載している学校評価の種類

自己評価

自己点検・評価結果公表シート

### 1. 本園の教育目標

教育基本法、学校教育法および幼稚園教育要領に従い、キリスト教の精神に基づいて保育し、子ども一人ひとりが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造性を豊に、心身ともに健やかに育つことを目標としている。

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

新幼稚園教育要領や教育課程の内容を全教職員が確認し共通理解を図ることによって教育の質を高め、さらには保護者のニーズをも確認して園の存在価値や独自性をより高めることに努める。

### 3. 点検・評価項目<抜粋>の達成および取り組み状況

点検・評価項目	取り組み状況
建学の理念や幼稚園教育要領に沿って園の教育理念、教育目標を定め教育課程を作成している。	より多くの教職員が研修や研究会に参加し、また教師会や教職員間で学びや確認の時を持ち、機会のあるたびに話題に上げて理解を深めるよう努めている。
教育課程は子どもの発達の状況や実態などをもとに作成している。	園の教育理念や教育方針をより深く理解しながら、一人ひとりの子どもをありのままに受け止め、子どもの様子や成長に合わせ、実態に合わせた教育課程を作成している。
子どもの実態を的確につかみ具体的な手立てを講じながら日々子どもに対応している。	登園から降園までの一日の流れのなかで一人ひとりの子どもの動きを通して、心身の健康状態をはじめ子どものパーソナリティーや長所等を理解して、保育の場に生かせるよう努めている。

<p>あそびを通して工夫したり協力したりするなど創造性や社会性が育っている。</p>	<p>あそびの発展や様々な子どもの活動に合わせて、あそびの広がりや深まりが持てるよう配慮しており、また手作り遊具や豊富な教材のある施設環境、さらに里山活動など大自然に接する機会も積極的に持っている。異年齢間の交流も、多く持つように心がけている。</p>
<p>子育て支援をはじめ地域とのかかわりを積極的に計画し実施している。</p>	<p>地域への支援は現在幼稚園の重要な役割となっており、園庭開放や「子育てを楽しむ会」、教育相談、キンダーカウンセリングなど積極的に取り組んでいる。また近くの小・中学校との交流の機会に加え、今後はより積極的な幼小連携を視野におき関係を深めていく必要がある。地域のイベントの会場として場所提供をするなど、地域の子育て支援の中心となるように努力している。</p>
<p>教職員が研究会や研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努めている。</p>	<p>研究会や研修会に参加して新しい情報や刺激を得ることは、常に質の高い教育の実践を続けていくためにも欠かすことはできない。雑務や毎日の仕事に追われてしまいがちだが、積極的に学びの機会を求めていきたい。また学んだことを教師会等で共有し、課題を上げて取り組み、日々の保育に生かすようにしている。</p>
<p>安全管理や防災活動に定期的に取り組んでいる</p>	<p>火災や地震等の災害に対しては防災意識を高めるために定期的に訓練を実施し、マニュアル等を作成して防火、防災管理に努めている。また外部からの侵入等に対するチェックなどの安全管理についても監視体制は整っている。また園内にAEDを設置し、教職員は救命講習を受講している。</p>
<p>保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応を図っている。</p>	<p>園児の登降時や個人懇談等で子どもの様子を伝えたり話し合う機会を設けている。また細かく園の便り等で連絡を密にしている。子どもの育ちにとって保護者と園との連携は欠かせず、保護者側の要望や園に対する意見はしっかり受け止めるよう努めている。</p>

#### 4. 学校（幼稚園）自己点検・評価の具体的な目標、計画の総合的な評価結果

教師一人ひとりが学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検・評価に取り組んでいる。今後も幼稚園の社会に対する役割の変化をも踏まえながら、客観的な目で自らの保育、教育を振り返り、さらに充実した実践ができるように各自努力を重ねていきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
施設環境	園内の環境においては保健・衛生、設備、施設の点検等、さらなる環境整備に努め、園児が安全に、安心して生活し、遊ぶことのできる快適な環境になるよう努める。
情報公開の方法	園便り、ポスター掲示、ホームページ等を通して行っているが、今後は地域・一般にもわかりやすく、最新の情報を提供できるように、ホームページの充実を図っていく。
自己点検・評価	今後とも教員一人一人が、専門性を高めるためにより高い目標を課題に挙げて取り組むとともに、さらに園の運営の在り方や今後のあるべき方向についても協議し検討を重ねていく。
指導計画の編成	指導計画の作成のため、現在の各クラス作成の教育課程についてさらに十分な討議をして共通理解を深め、見直すところは見直し、幼稚園を取り巻く環境や子どもの実態に即した指導計画の作成に取り組めるよう努める。

#### 6. 財務状況

公認会計士より、適正に処理されているとの報告を受けている。なお今年度も園の財務状況に関して積極的に公開をした。

この公表シートは財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、私立幼稚園版「学校評価ガイド」にある様式（項目）を使用した

## 学校関係者の評価

評価項目（抜粋）	評 価
<p>1. 教育（保育） 内容や教育方法 に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの成長に合わせた指導、教育を実施されていると思います。</li> <li>・たいへん良いと思う。グレース幼稚園ならではの遊びの中で、自由に自ら考え行動する力を育てる方針は、素晴らしいと思う。</li> <li>・子どもが好ましくない行動をした時でも、行動を否定したり制止されたりするのではなく、見守り、寄り添い、共感して下さった後で、気づきになる言葉がけをしてくださっています。子どもは自分で正しい行動を選択できて、叱られず、さらに自信を得て成長しています。</li> <li>・子どもの個性、課題などをみきわめて、個々に応じた対応をきめ細かく温かくしてくださる。</li> <li>・子ども一人ひとりにあった対応がされている。遊びの中から学んでいくという園の特色を活かした指導が行われている。</li> <li>・園の特色を活かしている保育を十分に行っていただけていると思いました。子どもたちの興味や関心がある物事に対し、積極的に対応して下さっていると思います。</li> </ul>
<p>2. 行事に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の特性を生かした行事であったり、子どもの発達に合わせたものであったり、目標を持てるものであったり、とても良いと思います。</li> <li>・行事の種類、回数、内容も大変良いと思う。</li> <li>・子どもはもちろん、保護者が参加できる行事も多く、いつも楽しみにしています。親子で行事ができるのも、幼稚園ならではの事なので、母も幼稚園生活を満喫できてうれしいです。</li> <li>・実体験を通じて成長していけるという点で、体力のついている年長、年中児にはとても良い経験だと思う。</li> <li>・様々な行事を体験することで、自主的に考え、行動する力を身につけることができている。</li> <li>・行事について、種類、実施回数は適切だと思いました。子どもたちにとって園外保育などは、いろいろな経験になり成長できると思っています。秋には、毎週のように園外保育に連れて行って下さるのもグレース幼稚園のいいところのひとつだと思います。</li> </ul>

<p>3. 経営・組織に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の生徒に対して十分な教師数であり、縦割りで子どもたちが行動することで、園児全てをある程度把握してもらえていると感じます。</li> <li>・問題ないと思います。</li> <li>・少人数の園なので、ご苦勞もあると思いますが、お忙しい中子どもにも親にも温かい良い園作りを下さっています。</li> <li>・良いと思う。</li> <li>・先生方が少ない人数にもかかわらず、協力して保育されている。各々の先生が担当クラスだけでなく、全員を見てくれている。</li> <li>・グレース幼稚園は、他の幼稚園より少人数だとは思いますが、その分他学年のお友達ができたり、遊び方や考え方も広がったりしていると思います。先生方の目も行きとどくので、一人ひとり子どもの気持ちをよく理解していただけていると思います。</li> </ul>
<p>4. 研究・研修に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しくはわかりませんが、毎年の行事や園での通常の保育時に生かされていると思います。</li> <li>・指導者全員で、互いの教育に対する理解を深めて、個々に研究・研修されていて大変良いと思います。</li> <li>・夏休み中、子どもの療育を見学に来て下さいました。療育の先生に、子どもへの接し方や、就学に向け今どのようなスキルを必要としているのかを熱心に質問して下さいました。</li> <li>・研究・研修内容は分からないが、子どもたちのことをよく分かってくださっているのが良いと思う。</li> <li>・研修に参加し、学んだことを日々の保育に役立てようとしている。また情報を他の職員と共有することでよりよい保育をしようと心がけている。</li> <li>・私たち保護者の知らない所で様々な研修会などに参加していただき、よりよい保育を目指してくださっている事は、すごくうれしい事だと思います。常に子どもたちの事を考えて下さっているのだと思いました。</li> </ul>
<p>5. 施設・設備に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い施設ながら、丁寧に修理、工事しながら清潔に安全に使われているように思います。</li> <li>・問題ないと思います。施設・設備とは少し違いますが、本に関して、かなり古く傷んだ本は処分してもいいのでは…と思います。</li> <li>・古いものを大切に使われていたり、新しい知育おもちゃがあったりと、質量ともにバランスが良いと思います。子どもたちは、ある物ある場所を工夫して楽しく遊んでいます。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた雰囲気、安全であると思う。</li> <li>・おもちゃ、自転車等古いものは処分する、買い換えるなどして整理して欲しい。設備の修理・修繕が遅いように思う。</li> <li>・園の門がオートロックになったり、先生方が登降園時には門に立って下さったりと安全面は確保して頂けているように思います。</li> </ul>
<p>6. 開かれた幼稚園づくりに関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に地域との関わりを持っていると思います。ホームページや園のPRをもう少し大々的にしてもよいのではと思います。</li> <li>・他校種との交流や、親子のイベント、週1の園庭開放などとても良いと思います。</li> <li>・園庭開放や移動動物園等、未就園の方にも楽しく園に来ていただける機会がたくさんあります。グレースカフェでは園長先生とお話できるので、ちょっとした心配ごとを相談したり、他の保護者の方のお話が聞けて新しい気づきがあったりと、よい時間になります。</li> <li>・親としては、園児の様子、そこに関わる大人の様子を実際に見ることができるので充分だと思う。</li> <li>・老人ホーム、中学校、近隣のお店等との交流があり、地域の人々と話すよい機会になっている。園庭開放や行事等、未就園児の親子に交流の場を提供できている。</li> <li>・長池小学校に行ったり、昭和中学校に行ったり、また花の日礼拝、収穫感謝祭などで地域の方々との交流ができていると思います。幼稚園も外から見て子どもたちの遊んでいる姿も見えるので、開かれた空間で伸び伸びと遊んでいると思います。</li> </ul>
<p>上記以外のご感想：・一人目が現在二年生ですが、卒園してよりたくさん子ども達生活を共にする中で、友達との関わり方は幼稚園で培われたものがとても大きく、学校からも周りの保護者からも、安心して見ていられると言ってもらえます。これはこの園に通っていたすばらしい財産です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この夏、セミ取りをしている時に、自宅の虫取り網が破れてしまい、子どもが、「ママ、帰ったら破れたところ縫ってね」と言いました。家で破れたものを縫ったりする機会がないので、壊れたら直して使うということを園で教わっているんだな、と思いました。買ってねではなく、縫ってねという子どもに育ってくれて素敵だなと思いました。ありがとうございます。</li> <li>・先生方が子どもたちのために日々努力されていることが分かりました。これからも子どもたちの成長をあたたく見守ってください。</li> <li>・一言で言うと、すごくいい幼稚園だと思います。少人数で泥遊びなど好きな事、興味のある事をさせて頂けるという事に、小学校に入ってから事を考えて「不安」を示す他の幼稚園の保護者の意見も聞きますが、全くそんな不安もなく、その好きな事、興味</li> </ul>	

のある事を、自分たちで考えて前に進めていく力が、後に大きな財産になるのだと思います。グレース幼稚園に通っている子どもたちは、本当に幼稚園、そして先生方が大好きだと思います。

資金収支内訳表(抜粋)

平成 27 年 4 月 1日から  
平成 28 年 3 月 31日まで

収入の部

科目	決算
学生生徒等納付金収入	9,538,400
手数料収入	90,000
寄付金収入	35,895
補助金収入	28,151,600
大阪府補助金収入	19,492,000
大阪市補助金収入	8,659,600
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	2,511,950
受取利息・配当金収入	0
雑収入	677,510
借入金等収入	0
計	41,005,355

支出の部

科目	決算
人件費支出	26,400,677
教育研究経費支出	6,619,013
管理経費支出	1,471,529
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	615,600
設備関係支出	0
計	35,106,819

事業活動収支内訳表(抜粋)

平成 27 年 4 月 1日から  
平成 28 年 3 月 31日まで

		科目	決算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	9,538,400
		手数料	90,000
		寄付金	35,895
		経常費等補助金	28,151,600
		大阪府補助金収入	19,492,000
		大阪市補助金収入	8,659,600
		付随事業収入	2,511,950
		雑収入	677,510
		教育活動収入計	41,005,355
	事業活動支出の部	人件費	26,400,677
		教育研究経費	7,558,717
		管理経費	1,521,004
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	35,480,398
教育活動収支差額			5,524,957
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	0
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	0
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額			0
経常収支差額			5,524,957
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	50,000
		特別収入計	50,000
	事業活動支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
特別収支差額			50,000
基本金組入前当年度収支差額			5,574,957
基本金組入額合計			△ 615,600
当年度収支差額			4,959,357
(参考)			
事業活動収入計			41,055,355
事業活動支出計			35,480,398

## 資金収支計算書

平成 27 年 4 月 1日から  
平成 28 年 3 月 31日まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	581,000,000	582,513,100	△ 1,513,100
手数料収入	8,700,000	8,854,300	△ 154,300
寄付金収入	1,200,000	1,219,952	△ 19,952
補助金収入	237,800,000	256,569,914	△ 18,769,914
国庫補助金収入	62,000,000	72,016,000	△ 10,016,000
大阪府補助金収入	58,900,000	59,735,000	△ 835,000
大阪市補助金収入	116,900,000	124,818,914	△ 7,918,914
資産売却収入	0	41,104	△ 41,104
付随事業・収益事業収入	14,900,000	20,412,965	△ 5,512,965
受取利息・配当金収入	12,800,000	12,790,555	9,445
雑収入	10,000,000	10,375,741	△ 375,741
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	322,100,000	329,443,500	△ 7,343,500
その他の収入	260,500,000	268,701,367	△ 8,201,367
資金収入調整勘定	△ 306,400,000	△ 310,379,150	3,979,150
前年度繰越支払資金	963,800,000	1,004,830,098	△ 41,030,098
収入の部合計	2,106,400,000	2,185,373,446	△ 78,973,446
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	549,600,000	554,327,463	△ 4,727,463
教育研究経費支出	152,250,000	137,910,618	14,339,382
管理経費支出	117,000,000	106,481,801	10,518,199
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	14,200,000	12,770,600	1,429,400
設備関係支出	15,700,000	13,979,654	1,720,346
資産運用支出	103,000,000	191,093,283	△ 88,093,283
その他の支出	163,510,000	169,749,355	△ 6,239,355
[予備費]	(0) 10,000,000		10,000,000
資金支出調整勘定	△ 17,100,000	△ 16,424,902	△ 675,098
翌年度繰越支払資金	998,240,000	1,015,485,574	△ 17,245,574
支出の部合計	2,106,400,000	2,185,373,446	△ 78,973,446

事業活動収支計算書

平成 27 年 4 月 1 日から  
平成 28 年 3 月 31 日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	581,000,000	582,513,100	△ 1,513,100	
		手数料	8,700,000	8,854,300	△ 154,300	
		寄付金	1,200,000	1,219,952	△ 19,952	
		経常費等補助金	237,800,000	256,569,914	△ 18,769,914	
		国庫補助金収入	62,000,000	72,016,000	△ 10,016,000	
		大阪府補助金収入	58,900,000	59,735,000	△ 835,000	
		大阪市補助金収入	116,900,000	124,818,914	△ 7,918,914	
		付随事業収入	14,900,000	20,412,965	△ 5,512,965	
		雑収入	18,300,000	24,853,397	△ 6,553,397	
		教育活動収入計	861,900,000	894,423,628	△ 32,523,628	
		事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
			人件費	543,500,000	548,234,681	△ 4,734,681
教育研究経費	214,150,000		199,490,172	14,659,828		
管理経費	134,100,000		124,938,844	9,161,156		
徴収不能額等	0		0	0		
教育活動支出計	891,750,000	872,663,697	19,086,303			
教育活動収支差額			△ 29,850,000	21,759,931	△ 51,609,931	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	12,800,000	12,790,555	9,445	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	12,800,000	12,790,555	9,445		
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		借入金利息	0	0	0	
その他の教育活動外支出		0	0	0		
教育活動外支出計	0	0	0			
教育活動外収支差額			12,800,000	12,790,555	9,445	
経常収支差額			△ 17,050,000	34,550,486	△ 51,600,486	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	0	117,716	△ 117,716	
	特別収入計	0	117,716	△ 117,716		
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産処分差額	3,900,000	3,616,574	7,516,574	
		その他の特別支出	0	0	0	
特別支出計	3,900,000	3,616,574	283,426			
特別収支差額			△ 3,900,000	△ 3,498,858	△ 401,142	
〔予備費〕			( 0 )		10,000,000	
基本金組入前当年度収支差額			△ 30,950,000	31,051,628	△ 62,001,628	
基本金組入額合計			0	△ 4,881,094	4,881,094	
当年度収支差額			△ 30,950,000	26,170,534	△ 57,120,534	
前年度繰越収支差額			△ 320,130,000	△ 264,395,004	△ 55,734,996	
基本金取崩額			△ 3,000,000	0	△ 3,000,000	
翌年度繰越収支差額			△ 354,080,000	△ 238,224,470	△ 115,855,530	
(参考)						
事業活動収入計			874,700,000	907,331,899	△ 32,631,899	
事業活動支出計			905,650,000	876,280,271	29,369,729	

## 貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,820,158,325	3,727,806,999	92,351,326
有形固定資産	2,518,673,602	2,574,515,559	△ 55,841,957
特定資産	1,301,093,283	1,153,000,000	148,093,283
その他の固定資産	391,440	291,440	100,000
流動資産	1,030,962,400	1,084,081,996	△ 53,119,596
資産の部合計	4,851,120,725	4,811,888,995	39,231,730
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	288,254,161	306,132,375	△ 17,878,214
流動負債	351,894,282	325,835,966	26,058,316
負債の部合計	640,148,443	631,968,341	8,180,102
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	4,449,196,752	4,444,315,658	4,881,094
第1号基本金	4,174,196,752	4,169,315,658	4,881,094
第2号基本金	200,000,000	200,000,000	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	75,000,000	75,000,000	0
繰越収支差額	△ 238,224,470	△ 264,395,004	26,170,534
純資産の部合計	4,210,972,282	4,179,920,654	31,051,628
負債及び純資産の部合計	4,851,120,725	4,811,888,995	39,231,730

## 財 産 目 録

(平成28年3月31日現在)

科 目	金 額
一 資産額	
(一)基本財産	2,718,750,042 円
1 土地(団地)	
校地	31,483 $m^2$ 596,481,453 円
2 建物	
(1)校舎	15,513 $m^2$ 1,519,932,154 円
(2)構築物	25,319,887 円
3 教具・校具・備品	6,269 点 90,172,677 円
4 図書	112,768 冊 276,276,831 円
5 建設仮勘定	10,490,600 円
6 電話加入権	76,440 円
7 第2号基本金引当特定資産	200,000,000 円
(二)運用財産	2,132,370,683 円
1 預金、現金	1,015,485,574 円
2 特定引当資産	1,101,093,283 円
3 有価証券他	15,791,826 円
合 計	4,851,120,725 円
二 負債額	640,148,443 円
1 固定負債	288,254,161 円
(1)退職引当金	285,561,937 円
(2)長期未払金	2,692,224 円
2 流動負債	351,894,282 円
(2)未払金	12,346,938 円
(1)前受金	329,443,500 円
(3)預り金	10,103,844 円
正味財産	4,210,972,282 円

平成28年5月23日

学校法人 大阪キリスト教学院  
理事会 御中

監事 山下佳弘



監事 野村恭三



### 監査報告書

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人大阪キリスト教学院寄附行為第17条に基づき、学校法人大阪キリスト教学院の平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の学校法人の業務及び財産の状況について監査を行いました。

私たちは学校法人大阪キリスト教学院監事監査規程に準拠し、理事会に出席し業務の報告を聴き、監査を行うに際しては5月17日に重要な決裁書類等を閲覧すると共に大阪キリスト教学院が監査を委託する公認会計士（大西仁幸氏及び横井俊幸氏）から私立学校振興助成法に基づく監査の状況について説明を聞くなど、本学院の業務及び財産の状況について必要と認めた監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人の業務及び財産に関し、不正行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重要な事実はないものと認めます。

以上